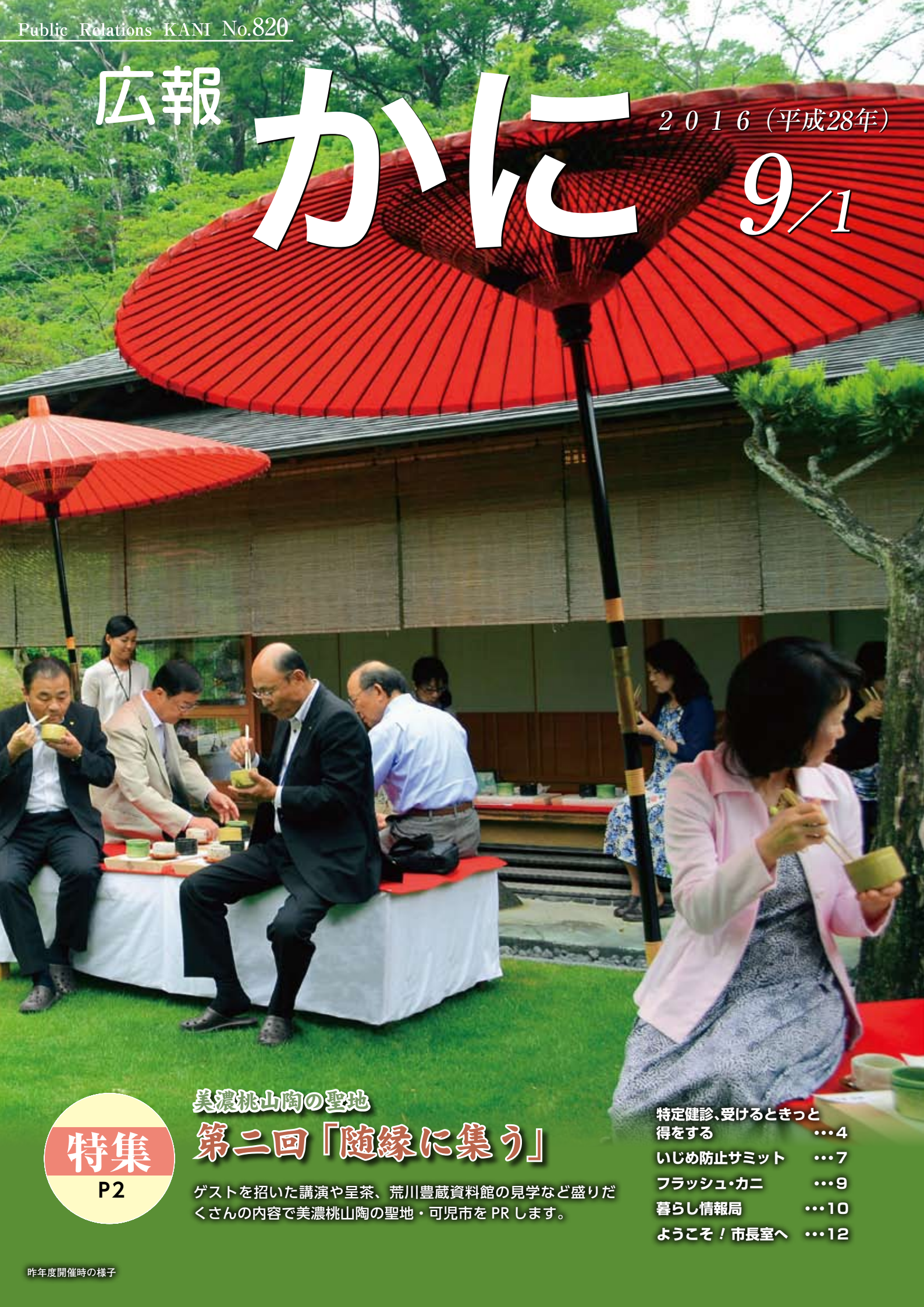


広報

かに

2016 (平成28年)

9/1



特集
P2

美濃桃山陶の聖地

第二回「随縁に集う」

ゲストを招いた講演や呈茶、荒川豊蔵資料館の見学など盛りだくさんの内容で美濃桃山陶の聖地・可児市をPRします。

特定健診、受けるときと得をする	…4
いじめ防止サミット	…7
フラッシュ・カニ	…9
暮らし情報局	…10
ようこそ！市長室へ	…12

美濃桃山陶の聖地

第二回「随缘に集う」

1 ゲストによる講演

10/13(木) 午前 榎本徹
～大織部展の立役者が語る～
「織部と利休」



学芸員、神奈川県横須賀市出身。
山口県立美術館副館長、岐阜県現代陶芸美術館館長を歴任。
2012年「岐阜県ゆかりの人間国宝」、2014年「古田織部四〇〇年忌大織部展」を開催するなど美濃桃山陶への造詣が深い。大織部展開催にあたり、国宝志野茶碗 銘卯花塙の400年ぶりの里帰りを実現。2016年4月から岐阜県現代陶芸美術館顧問と、荒川豊蔵資料館特別顧問を兼任。

10/13(木) 午後
特別対談 加藤孝造×榎本徹
～人間国宝が語る～
「美濃桃山陶の魅力」



陶芸家、瑞浪市出身。
1954年に第10回日展（洋画）でこの年の全国最年少者入選を果たすも、この年から陶芸の道へ進む。2010年瀬戸黒の技法で国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定。可児市名誉市民。

10/14(金) 午前・午後 橋本麻里
～日本一多忙な美術ライター～
「美濃のやきもの 伝統と未来」



日本美術を主な領域とするライター。
明治学院大学非常勤講師。今春より公益財団法人永青文庫の副館長を務める。新聞、雑誌などへの寄稿の他、テレビの美術番組を中心に、日本美術を楽しく分かりやすく解説。著書に『美術でたどる日本の歴史』全3巻（汐文社）、『SHUNGART』（小学館）、『京都で日本美術をみる [京都国立博物館]』（集英社クリエイティブ）ほか多数。

各回定員20人
参加者募集

参加費
10,000円

イベント概要

日時

第1回 10月13日(木)

午前9時30分～午後0時30分

第2回 10月13日(木)

午後2時～5時

第3回 10月14日(金)

午前9時30分～午後0時30分

第4回 10月14日(金)

午後2時～5時

場所 花フエスタ記念公園内茶室ほか

参加費 1万円

定員 各回20人(抽選)

申込方法 希望する回、参加者氏名

(3人まで)、代表者の住所、電話

番号を明記し、窓口または各回に

つき1枚のはがきで申し込む

美濃桃山陶の聖地・可児市は、最も日本的なやきものである国宝の志野茶碗 銘卯花塙を生み出したまちです。また人間国宝荒川豊蔵（志野瀬戸黒）が志野復興を遂げたまちでもあります。そうした美濃桃山陶の聖地をPRするため、昨年度に引き続きゲストを招いた講演や呈茶、荒川豊蔵資料館の見学など盛りだくさんのイベントを開催します。ぜひたくなひとときを味わいませんか。

2 ガーデンパーティー

地元の料理人が趣向を凝らし、旬の食材を生かして作る先付を、地元陶芸家が制作した美濃桃山陶の器で提供します。

先付監修・調理



三宅邦博

広見の日本料理店「おりべ亭」を経営。独学で料理を学び、3代続く料理旅館を継ぐ。食材や旬にこだわったメニューが好評。限られた器に彩られる「創作三宅流料理」をご堪能ください。



先付と器のイメージ

※器はお土産としてお持ち帰りいただけます。

器制作：可児陶芸協会の皆さん



青山晃大：弥七田織部制作

多治見市で陶芸家に師事した後、修業を重ね平成6年に独立。下恵土で「青窯」を構え、織部焼を作陶。「遊び心を大切に、生活空間の彩りに」をテーマに青山流「織部心」を提案しています。



佐藤公一郎：鼠志野制作

美濃焼の伝統工芸士として認定されており、市内の学校で陶芸体験の講師を依頼されることもあります。黄瀬戸や梅花皮の赤志野などの抹茶茶わんや食器類などを主に制作しています。



山下幾太郎：黄瀬戸制作

大学の工学部卒業後、飛騨国際工芸学園および多治見工業高校専攻科に入学し、陶芸における表現方法を学びました。コンピューターが得意とする規則性とランダム性の間の文様に興味をおぼえ作陶しています。

4 荒川豊蔵資料館見学

学芸員がエピソードを交えて解説します。

※雨天などにより、可児郷土歴史館見学に変更する場合があります。



旧風呂場跡（東屋に改修）

Point

来春公開予定の旧荒川豊蔵邸周辺の一部も、一足先にご覧いただけます。

3 呈茶&鑑賞会

広間にて呈茶&鑑賞会

- ・可児陶芸協会員制作の抹茶茶わんを使用
- ・市茶道連盟による呈茶
- ・人間国宝の茶わん拝見（荒川豊蔵、加藤孝造）
- ・美濃桃山陶の陶片拝見（黄瀬戸、瀬戸黒、志野、織部）

Point

普段手にすることのない人間国宝の茶わんや陶片を解説付きで拝見できます。



茶わんを拝見する参加者たち

問合先 観光交流課



※美濃桃山陶の聖地の魅力をホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

はがきの書き方

裏面

- ・希望する回
(代表者のみ)
- ・氏名
- ・住所
- ・電話番号
(代表者以外)
- ・氏名(2人まで)

表面

5090292
(住所不要)
可児市役所
観光交流課宛

送付先 〒509-0292
可児市役所観光交流課
申込締切 9月23日(金) 午後5時
15分 消印有効
※応募者多数の場合は、9月26日(月) 午前9時に市役所3階観光交流課で公開抽選を行います。